



CHAPTER 23

Cisco Unified Presence の管理ページでの Cisco Unified Personal Communicator CTI ゲートウェイの設定値の設定

- 「CTI ゲートウェイの設定方法」 (P.23-1)
- 「CTI ゲートウェイ プロファイルの設定方法」 (P.23-4)

CTI ゲートウェイの設定方法

- 「CTI ゲートウェイ サーバの設定」 (P.23-1)
- 「CTI ゲートウェイ サーバの検索」 (P.23-2)
- 「CTI ゲートウェイ サーバの削除」 (P.23-3)

CTI ゲートウェイ サーバの設定

1 つまたは複数の CTI ゲートウェイ サーバをプロビジョニングできます。次に、これらのサーバを CTI ゲートウェイ プロファイルに追加して、CTI ゲートウェイ サーバごとにユーザを区分できるようにします。

手順

ステップ 1 次のいずれかの操作を実行します。

操作の目的	操作
CTI ゲートウェイを追加する	a. [アプリケーション (Application)] > [Cisco Unified Personal Communicator] > [CTI ゲートウェイ サーバ (CTI Gateway Server)] の順に選択します。 b. [新規追加 (Add New)] をクリックします。
CTI ゲートウェイを更新する	a. 「CTI ゲートウェイ サーバの検索」 (P.23-2) の説明に従ってレコードを検索します。 b. 必要に応じてレコードを編集します。

ステップ 2 表 23-1 の説明に従って CTI ゲートウェイの設定値を入力します。

表 23-1 CTI ゲートウェイ サーバの設定パラメータ

フィールド	説明
名前 (Name)	CTI ゲートウェイ サーバの名前を指定します。
説明 (Description)	CTI ゲートウェイ サーバの一般的な説明を指定します。
ホスト名/IP アドレス (Hostname/IP Address)	CTI ゲートウェイ サーバのホスト名または IP アドレスを指定します。
ポート (Port)	CTI ゲートウェイ サーバに対して設定されるポート番号を指定します。 デフォルト : 2748
プロトコル タイプ (Protocol Type)	CTI ゲートウェイ サーバと接続する場合に使用するプロトコルを指定します。次のいずれかの値を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • TCP • TLS デフォルト : TCP

- ステップ 3** データを保存するには、次のいずれかの操作を実行します。
- a. ウィンドウの左上隅にあるツールバーに表示されている [保存 (Save)] アイコンをクリックします。
 - b. ウィンドウの下部にある [保存 (Save)] をクリックします。

CTI ゲートウェイ サーバの検索

ネットワークに CTI ゲートウェイ サーバが複数存在する場合があるため、Cisco Unified Presence では、具体的な検索条件に基づいて特定の CTI ゲートウェイ サーバを検索できます。

手順

- ステップ 1** [アプリケーション (Application)] > [Cisco Unified Personal Communicator] > [CTI ゲートウェイ サーバ (CTI Gateway Server)] の順に選択します。
- ステップ 2** データベースのすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認して、[ステップ 4](#)に進みます。
- ステップ 3** レコードをフィルタリングまたは検索するには、次のいずれかの操作を実行します。
 - 最初のリスト ボックスから検索パラメータを選択します。
 - 2 番目のリスト ボックスから検索パターンを選択します。
 - 必要に応じて適切な検索テキストを指定します。
- ステップ 4** [検索 (Find)] をクリックします。

ステップ 5 表示されるレコードのリストから、次の 1 つまたは複数の操作を実行します。

操作の目的	操作
レコードを表示する	該当するレコードのリンクをクリックします。
レコードリストのソート順序を逆にする	リストのヘッダーにある上向き矢印または下向き矢印をクリックします。

関連項目

[「Web ブラウザ セッション」 \(P.1-7\)](#)

CTI ゲートウェイ サーバの削除

手順

ステップ 1 CTI ゲートウェイ サーバを検索します。

ステップ 2 一致するレコードのリストから、削除するサーバを選択します。

ステップ 3 サーバを削除するには、次のいずれかの操作を実行します。

操作の目的	操作
選択したレコードを削除する	<ol style="list-style-type: none"> a. 該当するレコードをオンにします。 b. 次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • ウィンドウの下部にある [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。 • ウィンドウの左上隅にあるツールバーに表示されている [選択項目の削除 (Delete Selected)] アイコンをクリックします。
すべてのレコードを削除する	<ol style="list-style-type: none"> a. [すべてを選択 (Select All)] をオンにします。 b. [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。

トラブルシューティングのヒント

CTI ゲートウェイ サーバが使用中でない場合は、Cisco Unified Presence により削除されます。使用中の場合は、メッセージが表示されます。

関連項目

[「CTI ゲートウェイ プロファイルの検索」 \(P.23-6\)](#)

CTI ゲートウェイ プロファイルの設定方法

- 「CTI ゲートウェイ プロファイルの設定」 (P.23-4)
- 「CTI ゲートウェイ プロファイルの検索」 (P.23-6)
- 「CTI ゲートウェイ プロファイルの削除」 (P.23-7)

CTI ゲートウェイ プロファイルの設定

Cisco Unified Presence では、Cisco Unified Personal Communicator 用の CTI ゲートウェイ プロファイルを設定し、1 人または複数のユーザをこのプロファイルに追加できます。1 つのプライマリ CTI ゲートウェイ サーバと 2 つのバックアップ サーバを各プロファイルに含めることができます。



(注)

Cisco Unified Personal Communicator 用の CTI ゲートウェイ プロファイルは、Cisco Unified Communications Manager に定義されたプレゼンス グループに基づいて自動的に生成されます。デバイス、ディレクトリ、番号、およびユーザを 1 つのプレゼンス グループに割り当てることができます。デフォルトでは、すべてのユーザが標準プレゼンス グループに割り当てられます。Cisco Unified Communications Manager のプレゼンス グループの詳細については、『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』を参照してください。

手順

ステップ 1 次のいずれかの操作を実行します。

操作の目的	操作
CTI ゲートウェイ プロファイルを追加する	a. [アプリケーション (Application)] > [Cisco Unified Personal Communicator] > [CTI ゲートウェイ プロファイル (CTI Gateway Profile)] の順に選択します。 b. [新規追加 (Add New)] をクリックします。
CTI ゲートウェイ プロファイルを更新する	a. 「CTI ゲートウェイ プロファイルの検索」 (P.23-6) の説明に従ってレコードを検索します。 b. 必要に応じてレコードを編集します。

ステップ 2 表 23-2 の説明に従って CTI ゲートウェイ プロファイルの設定値を入力します。

表 23-2 CTI ゲートウェイ プロファイルの設定パラメータ

フィールド	説明
名前 (Name)	CTI ゲートウェイ プロファイルの名前を指定します。
説明 (Description)	CTI ゲートウェイ プロファイルの一般的な説明を指定します。
プライマリ CTI ゲートウェイ サーバ (Primary CTI Gateway Server)	プライマリ CTI ゲートウェイ サーバを指定します。リスト ボックスにある定義済みの CTI ゲートウェイ サーバの中から選択できます。

表 23-2 CTI ゲートウェイ プロファイルの設定パラメータ (続き)

フィールド	説明
バックアップ CTI ゲートウェイ サーバ (Backup CTI Gateway Server)	バックアップ CTI ゲートウェイ サーバを指定します。リスト ボックスにある定義済みの CTI ゲートウェイ サーバの中から選択できます。バックアップ CTI ゲートウェイ サーバは 2 つ指定できます。
これをシステムのデフォルト CTI ゲートウェイ プロファイルに設定します (Make this the default CTI Gateway Profile for the system)	 <p>(注) システムのデフォルト プロファイルにすることを選択した場合は、Cisco Unified Communications Manager から Cisco Unified Presence に同期化されたユーザがすべてこのデフォルト プロファイルに自動的に追加されます。このデフォルト プロファイルに追加されるのは、デフォルト プロファイルの選択 (および Sync Agent のアクティブ化) が終了した後で同期化されたユーザだけです。すでに Cisco Unified Presence に存在するユーザのプロファイル設定は変更されません。このため、デフォルト プロファイルの選択と設定が終了するまで Sync Agent をアクティブ化しないことを推奨します。</p>

- ステップ 3** ユーザを CTI ゲートウェイ プロファイルに関連付けるには、[プロファイルにユーザを追加 (Add Users to Profile)] をクリックします。
- ステップ 4** データベースのすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認して、[ステップ 6](#) に進みます。
- ステップ 5** レコードをフィルタリングまたは検索するには、次のいずれかの操作を実行します。
- 最初のリスト ボックスから検索パラメータを選択します。
 - 2 番目のリスト ボックスから検索パターンを選択します。
 - 必要に応じて適切な検索テキストを指定します。
- ステップ 6** [検索 (Find)] をクリックします。
- ステップ 7** 表示されるレコードのリストから、次の操作を実行します。
- a. CTI ゲートウェイ プロファイルに追加するユーザを選択します。
 - b. [すべてを選択 (Select All)] をクリックします。
- ステップ 8** [選択項目の追加 (Add Selected)] をクリックして、CTI ゲートウェイ プロファイルにユーザを追加します。
- ステップ 9** [閉じる (Close)] をクリックして、[ユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users)] ウィンドウを終了します。
- ステップ 10** データを保存するには、次のいずれかの操作を実行します。
- a. ウィンドウの左上隅にあるツールバーに表示されている [保存 (Save)] アイコンをクリックします。
 - b. ウィンドウの下部にある [保存 (Save)] をクリックします。

CTI ゲートウェイ プロファイルの検索

ネットワークに CTI ゲートウェイ プロファイルが複数存在する場合があります。Cisco Unified Presence では、具体的な検索条件に基づいて特定の CTI ゲートウェイ プロファイルを検索できます。

手順

- ステップ 1** [アプリケーション (Application)] > [Cisco Unified Personal Communicator] > [CTI ゲートウェイ プロファイル (CTI Gateway Profile)] の順に選択します。
- ステップ 2** データベースのすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認して、[ステップ 4](#) に進みます。
- ステップ 3** レコードをフィルタリングまたは検索するには、次のいずれかの操作を実行します。
- 最初のリスト ボックスから検索パラメータを選択します。
 - 2 番目のリスト ボックスから検索パターンを選択します。
 - 必要に応じて適切な検索テキストを指定します。
- ステップ 4** [検索 (Find)] をクリックします。
- ステップ 5** 表示されるレコードのリストから、次の 1 つまたは複数の操作を実行します。

操作の目的	操作
レコードを表示する	該当するレコードのリンクをクリックします。
レコードリストのソート順序を逆にする	リストのヘッダーにある上向き矢印または下向き矢印をクリックします。

関連項目

[「Web ブラウザ セッション」 \(P.1-7\)](#)

CTI ゲートウェイ プロファイルの削除

手順

- ステップ 1** CTI ゲートウェイ プロファイルを検索します。
- ステップ 2** 一致するレコードのリストから、削除する CTI ゲートウェイ プロファイルを選択します。
- ステップ 3** CTI ゲートウェイ プロファイルを削除するには、次のいずれかの操作を実行します。

操作の目的	操作
選択したレコードを削除する	<p>a. 該当するレコードをオンにします。</p> <p>b. 次のいずれかの操作を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ウィンドウの下部にある [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。 • ウィンドウの左上隅にあるツールバーに表示されている [選択項目の削除 (Delete Selected)] アイコンをクリックします。
すべてのレコードを削除する	<p>a. [すべてを選択 (Select All)] をオンにします。</p> <p>b. [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。</p>

トラブルシューティングのヒント

CTI ゲートウェイ プロファイルが使用中でない場合は、Cisco Unified Presence により削除されます。使用中の場合は、メッセージが表示されます。

関連項目

[「CTI ゲートウェイ プロファイルの検索」 \(P.23-6\)](#)

